

	これまでの学習をふまえて、世界中の人々がインターネットにアクセスできる社会の実現のための課題は何でしょうか。5行以上の文章で答えてください。
3303	世界では海底ケーブルがほとんど通っていないところがあったり、災害が起こった時に、予想外なところで海底ケーブルに故障が起きてしまったりしている。通信衛星は、今は海底ケーブルより劣っているが、もっと発達させれば、どの国にも偏りなくインターネットが使えるようになるのではないかと思う。
3311	経済活動が活発で人口が多いほど海底ケーブルがたくさん繋がっているという偏りがあり、海底ケーブルは切れやすく、データを復元するためにデータ普及率を用意したりするので、世界中の人たちがインターネットにアクセスできる社会の実現の為には、偏りをなくし海底ケーブルをたくさん色々なところに繋げていくことが課題だと思う。
3313	南半球を中心に海底ケーブルの本数が少ない。海底ケーブルが少ないとすることは、人口が少なく経済活動が活発でない。また、国の金が少ないため、海底ケーブルを増やすことができない。GDPを高くし、経済活動を活発にする。その為には先進国の援助が必要だ。各国が協力し合えば実現すると考える。
3317	インターネットの普及が進んでいない発展途上国に、陸上の通信設備やスマホなどの電子機器の利用を促進させる。また海底ケーブルは切れやすいという問題があるため、各国に1本ではなく、複数のケーブルを設置し、ケーブルが切れても通信が途絶えないようにする。
3328	海底ケーブルは、経済活動が盛んで、人口が多いほど海底ケーブルは、糸のような役割で人口が少ないとこには海底ケーブルも少ないので海底ケーブルをたくさん色々なところに繋げることが課題です。
3333	いつ地震や火山の噴火が起って数本切れてもいいように海底ケーブルを発展途上国と先進国との間にたくさん敷設し、世界各地にアンテナやWiFi環境を整えて、通信機器を各々の人々が使えるようにすること。
3404	世界中の人々がインターネットにアクセスできるようにするために、人口が少なく経済活動が盛んではない発展途上国の人々の利用を増やすことだと思う。そのために先進国との間の海底ケーブルを増やしたり、通信機器の使用を増やしたりすることがインターネットにアクセスできる社会の実現につながると思う。
3407	海底ケーブルの少ない場所はちょっとづつ増やしていく、それに伴って陸でも電波塔などを設置していく、どこでもインターネットを使えるようにしていくこと、金銭面で通信機器が買えない時は、数人で1つ買うなどと工夫をしていくこと。
3414	世界中の人々がインターネットにアクセスできる環境作りをするためには、海底ケーブルの本数を増やす必要があり、現状先進国にケーブルが多く繋がれており、発展途上国にケーブルが少なく繋がれている。よって私は世界中に海底ケーブルを繋げるために国内総生産を上げ、1人あたりGNIを高めるべきであると考える。
3419	南半球の国々では人口が少なくそれに伴って1人あたりのGDPが低くなってしまうので、人々が生活し長生きできる環境を整えて海底ケーブルをできるだけ多く繋げ、電波塔などを置いてインターネットの回線環境を可能な限り良くする。
3422	GNIが高い先進国がGNIの低い発展途上国に投資したりして海底ケーブルや通信機器を増やし世界中の人たちがインターネットにアクセスできる社会を実現すること
3438	全ての国になるべく多くの海底ケーブルを結び、途上国の国が発展国になるように発展国は途上国を支え通信需要を高めていき、どの国でもなにか調べても良い社会の実現ができます。
3515	世界中の人々がインターネットにアクセスできる環境作りを作るために海底ケーブルの回線本数を増やし、1人あたりのGNIを増やす事によってスマートフォンや、パソコンなどインターネットにアクセスできる環境作りを徹底していくべきである。
3609	海底ケーブルを多く敷設し通信設備を整わせる。また、経済活動が豊かではない国にもアクセスできるようにインフラのネットワークの技術向上を目指しデータ使用量を減らすことで基本のサービスを提供する。
3632	人口の少ない国や発展途上国などに関係なく世界中に海底ケーブルを張り巡らせる。地震や火山が起っても海底ケーブルが遮断されないようにする。GISを活用して新しく張る海底ケーブルの設置の管理をする。
3638	日本などの先進国がお金を出し合い途上国の各国に携帯電話やインターネットの接続を無料で提供したり、デジタル機器の使い方を習得させ情報格差を無くすことが必要。

年組番	これまでの学習をふまえて、世界中の人々がインターネットにアクセスできる社会の実現のための課題は何でしょうか。5行以上の文章で答えてください。
3702	海底ケーブルは人口や経済の発達したところ、その国と繋がる需要があるかないかで決まるので、途上国は経済面でもっと発達し自分の国をアピールしなければならぬのと、先進国は途上国に伝えたり、支援すれば世界中が繋がれると考えました。
3705	まず初めに、途上国の中でもインターネットの普及していない国には海底ケーブルがあまり通っておらず、通っていても1カ国程度なのでより多くの国や地域と繋がっていくべきだと思う。そして、スマートフォンや携帯電話をより一層普及させていくことでインターネットにアクセスできる国が増えていくと思う。
3712	インターネットにアクセスしやすい社会にするには海底ケーブルが必要だが、海底ケーブルを作る技術がなく海底ケーブルが少ない国々がある。そのような国々のインターネット普及率を上げ海底ケーブルがひけるようにすることが課題である。
3720	発展途上国のようなケーブルの繋がっている数が少ない国に、先進国のように複数のケーブルを繋げるには、海底ケーブルの他に地上でもアンテナを設置したり、インターネットが繋がる環境をつくるため国内でのGDPやGNIを上げ経済力を高めることが課題である
3722	インターネットにアクセスしやすい社会にするためには、インターネット普及率を上げる必要がある。そのためには陸上の通信網を整えたり、海底ケーブルを増設するのに投資できるお金をつくるため1人あたりのGNIをあげることが課題である。
3731	インターネットにアクセスするにはまず、携帯やパソコンなどの機器や回線を繋ぐための海底ケーブルが張られることが前提になる。だが、現状として発展途上と先進国の中ではインターネットが繋がる環境に格差が生じていて、途上国ではアクセスしにくい傾向だ。課題として機器を揃えるための金銭的余裕や、海底ケーブルを繋ぐためには国の人口を増やし経済を良くしなくてはならない。
3733	海底ケーブルが凍った海でも使えるように低温に耐えられる海底ケーブルにすることと、氷同士のぶつかり合いや錨、サメなどで壊れないよう强度をあげること、そして海底火山噴火や地震が起きやすい場所にバックアップを起動させ、また、発展途上国に海底ケーブルのバックアップを必要としている国はお金を用意することが課題。
3814	世界中の人々がインターネットにアクセスできる社会を実現するためには、途上国と先進国の貧富差を減らすことと海底ケーブルや陸上の通信設備を増やしていくことが課題である。
3815	フィジーのように海底ケーブルが1本のみの所や発展途上国のように海底ケーブルがあまり繋がっていない国に、海底ケーブルをめぐらせそれと共に陸上のケーブルを増やしアンテナを設置し、インターネットにアクセスできる環境を作るため、国内でのGDPやGNIを上げ経済力を高めることが課題。
3825	インターネットにアクセスできる社会の実現のためには、社会全体のインターネット普及率を上げることが課題であると考える。なぜなら、先進国と発展途上国とのインターネット普及率の差があるから。
3829	日本などの世界中の先進国やユニセフなどの国連機関がそれぞれお金出し合い、インターネットを利用したくても出来ない人の為に、無料で端末を使用できるサービスを提供できること。

年組番

これまでの学習をふまえて、世界中の人々がインターネットにアクセスできる社会の実現のための課題は何でしょうか。5行以上の文章で答えてください。